

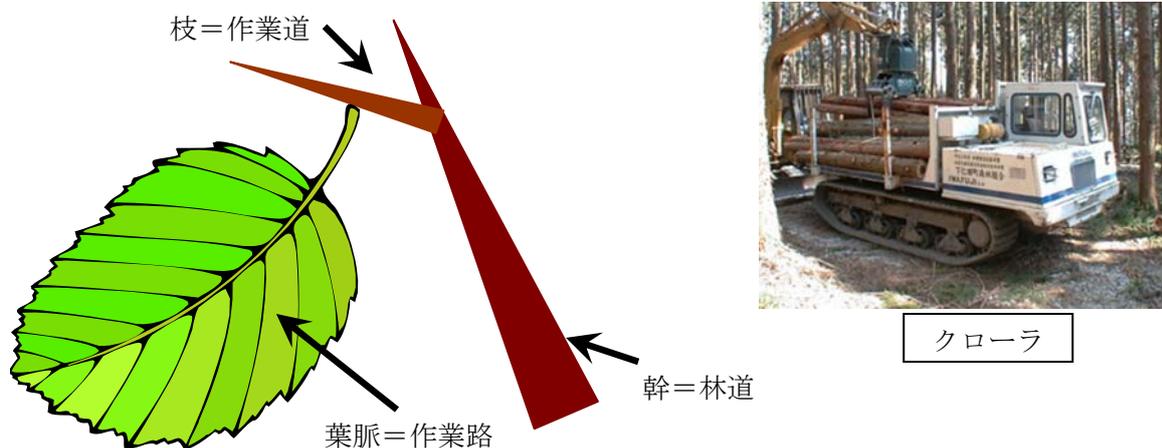
「作業路」で低コストな林業を実践しましょう！

総合グリーンセンター 牧野憲嗣

最近、合板や集成材などへの国産材の需要が広がるなど、林業界にも新たな光が差し始めています。

このような中、林業には現在の木材価格に応じた施業の低コスト化が必要となっており、県内においても、高性能林業機械をはじめとした機械化などの低コスト林業への取組みが行われています。その中で今回は、林業の低コスト化を図るために有効な「作業路」について紹介します。

「作業路」とは林内で伐倒等した材を集め、トラックに積込む場所まで運ぶための道で、今までの架線集材に変わるものと言えます。林道や作業道と違い、トラックなどのタイヤ車両が走るのではなく、主にクローラの作業車が走るためのものです。樹木に例えると、林道が幹で、作業道が枝、作業路が葉脈にあたると言えます。



【林内の道】

林道



幅員 = 4 ~ 5 m
開設単価 = 約 15 ~ 25 万円 / m

作業道



全幅員 = 3 ~ 4 m 程度
開設単価 = 約 1 万円 / m

作業路



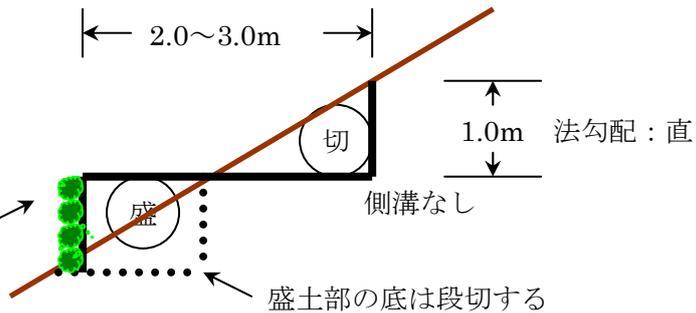
全幅員 = 2 ~ 3 m
開設単価 = 約 2 千円 / m

【望ましい構造】

※半切半盛

※路網密度 200~300m/ha

掘削で剥ぐ表土は路肩に盛り固める(早期緑化)
表土のほか、伐根や岩砕なども路肩補強として用いる



【望ましい配置】

路網の設置に当たっては、水を如何に処理するかが最も大切になります。

山の上方向へ向かう線形は、沢筋を避け、水が集まりにくい尾根筋にS字状に配置します。

また、横方向へ向かう線形は、等高線に沿うように配置します。

さらに、線形が網の目となるようにし、極力、行き止まりとならないようにします。

排水は、なるべく尾根部で行い、線形に水平部をこまめに設けます。また、沢部は洗越とし、縦断勾配を両側とも沢に向かって下げるようにします。

【集材の架設費用比較】

方法	作業路	架線
費用	60万円/ha	100万円/ha
100m ³ /ha 生産した場合	6千円/m ³	1万円/m ³

※ 架線集材は皆伐など、面積あたりの出材量が多い場合に採算が合ってきます。

※ 架線による集材の場合、架線の架設撤去にかかる費用が材を出すごとに必要となりますが、作業路の場合、少々の補修費用で済みます。

【低コスト間伐】

この作業路は、横列状間伐と組み合わせるとさらに低コスト化が図られます。本誌、2004年2月号に掲載されています。



最後になりますが、福井県の森林の所有形態は小規模で分散していることが多いことから、現在の木材価格では、森林所有者が各々で間伐や木材搬出を行ってはいは収益を確保することがなかなか難しい状況にあります。これを打破していくためには、森林所有者が一丸となって森林を大きなまとまりにしていけることがとても重要になります。

みなさんが大切に植え育ててきた森林も木材として利用できるほどに成長し、ようやく林業ができる環境が整ってきました。力を合わせて、地域、ひいては福井の森林を元気にしましょう！

作業路開設に関するお問い合わせは、最寄りの農林総合事務所、嶺南振興局、総合グリーンセンター、もしくは地域の森林組合にお願いします。